

# 薬剤部

薬剤部長 古川 博則

## 〔令和 6 年度部門目標〕

- ・病院の目標に対する薬剤部の目標  
安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
- ・薬剤部の目標
  1. 安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
  2. 適正な薬物療法を提案できる薬剤師をめざす。
  3. 患者さんの立場に立って、心あたたまる態度で対応する。
  4. 良好的なコミュニケーションをとり、チームワークを活かして業務を行う。
  5. 問題意識を持って業務に取り組み、改善をしていく。

## 1 業務体制

### (1) 業務スタッフ

常勤薬剤師 20 名（うち育児時短勤務 1 名、育休 1 名）

会計年度職員（薬剤師）8 名、会計年度職員（事務員）3 名

### (2) 業務内容

○調剤室業務	処方箋調剤、注射箋調剤、定期配薬カードセット 化学療法：調製、外来化学療法室患者説明 術前中止薬説明、麻酔カード定数補充
○薬品庫業務	注射・外用薬定期払出、注射・外用薬臨時払出、注射箋薬剤払出
○製剤室業務	T P N 調製、院内製剤調製
○医薬品管理業務	麻薬管理、向精神薬管理、毒薬管理、特定生物由来製剤管理、一般薬品管理、マスタ管理業務 など
○夜間救急診療業務	採用医薬品管理
○D I 業務	医薬品情報管理・提供、副作用報告
○病棟業務	病棟薬剤業務実施加算、薬剤管理指導料 退院時薬剤情報管理指導料、病棟薬品管理

## 2 業務実績（表 1）

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
院外処方箋発行率（%）	96.2	96.2	95.2
外来処方箋枚数（院内）	1,635	1,638	2,114
入院処方箋枚数	31,852	28,770	24,661
個人注射セット件数	35,814	35,578	29,116
化学療法ミキシング件数	1,345	1,294	1,103

外来化学療法指導件数	905	907	889
TPN 調製件数	177	33	140
術前中止薬指導件数	346	193	90
入院全指導患者数（人）	10,734	9,292	9,443
入院患者訪問件数（件）	17,790	15,018	11,255
薬剤管理指導料算定件数	13,775	12,431	11,255

#### [部外活動実績]

- ・ 第 12 回 日本くすりと糖尿病学会学術集会  
「新生児低血糖にステロイド及びジアゾキシドを使用した一症例」 田中 雅代
- ・ 第 54 回 日本病院薬剤師会関東ブロック大会学術大会  
「当院のバンコマイシン使用症例における薬剤師業務の有用性」 森永 正樹
- ・ 千葉市立海浜病院 薬薬連携の会（薬剤部主催）  
「当院における薬薬連携の取り組みについて」 島田 英朗  
「当院における膀胱化学療法について」 消化器内科統括部長 太和田 勝之
- ・ 第 55 回 「薬と健康の週間」 県民のつどい  
「災害時の薬剤師による医療支援活動」 古川 博則
- ・ 千葉県公務員薬剤師会・千葉市職員薬剤師会合同研修会  
「令和 6 年能登半島地震医療支援活動」 古川 博則
- ・ 令和 6 年度 第 5 回 千葉県病院薬剤師会中央支部研修会  
「薬剤師による災害医療支援活動～令和 6 年能登半島地震～」 古川 博則

### 3 1年間の経過と今後の目標

令和 5 年度からの継続業務である定期配薬カートセットを全病棟に拡大し、2 件の新規業務を開始した。また、医薬品の供給不足による代替薬の手配や院内周知などの多岐に渡る対応に苦慮した 1 年であった。

#### 〈新規業務〉

- ・ 手術室麻酔カート定数の補充を開始した。
- ・ 入院処方の代行入力を開始した。

#### 〈その他〉

- ・ 術前中止薬説明の対象患者を拡大した。結果、令和 5 年度の 1.8 倍の説明件数となつた。
- ・ 全病棟の病棟担当者を 2 チーム制として、各チームにリーダーを設けて、フォローアップ体制を充実させた。その結果、薬剤管理指導料算定件数を増加することができた。
- ・ 薬剤部の目標として「5. 問題意識を持って業務に取り組み、改善していく」を追記した。常勤職員だけでなく、会計年度職員からの改善の提案があり 107 件/年の業務改善に繋げることができた。
- ・ 日直業務を日勤に変更して、代休を取得するよう労働条件を改善した。

## ○今後の目標

- ・令和 6 年度以上に、問題意識を持って業務に取り組み、業務改善に務める。
- ・他部門との連携業務は、問題点を抽出して協議しながら業務の質を高めていく。
- ・入院処方代行入力の対象は現在 3 項目であるが、令和 7 年度は対象項目を増やしていく。
- ・労働環境改善のための二交代制導入に向けて、人員確保及び適正な人員配置に努めていく。
- ・自己研鑽に励み、病棟業務や外来業務への質の高い介入を目指し、常に患者の気持ちに寄り添い安心で信頼される薬剤業務を遂行していきたい。

## 〈資格取得〉

感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	3 名
小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	2 名
救急認定薬剤師（日本臨床救急医学会）	1 名
糖尿病薬物療法履修薬剤師（日本くすりと糖尿病学会）	1 名
日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	10 名
認定実務実習指導薬剤師（薬学教育協議会）	7 名
研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	5 名
がん専門療法士（日本栄養治療学会）	1 名
栄養サポートチーム専門療法士（日本栄養治療学会）	6 名
日本DMA T 隊員	2 名
スポーツファーマシスト	1 名
千葉県糖尿病療養指導士	1 名
千葉県災害時支援薬剤師	1 名
心不全療養指導士（日本循環器学会）	1 名
術後疼痛管理研修 修了（日本麻酔科学会）	2 名